

19万人のひろば



「選手みんなとおそろいだね」 水球帽子を被ったやっちが登場



▲目の部分には、ちゃんとイヤードもついています

6月9日、秀明大学で行われた関東学生水球リーグ戦の予選にやっちが応援に行きました。いつもとちょっと違うのは、ピカピカの水球帽子を被っているところ。帽子の横には、名前にちなんだ番号「8」が付いています。選手たちから「おそろいの帽子でかわいい」と声をかけられうれしそう。応援にも熱が入りました。試合前やハーフタイムに、会場を大いに盛り上げ、チームも見事勝利を収めました。市内の秀明大学の試合で、また水球帽子を被ったやっちが応援に来るかもしれませんよ。

役者の私は八千代から生まれた コロッケこと滝川広志さん

映画「ゆずりは」では、葬儀会社のベテラン社員水島正二役を演じ、コロッケではなく本名の滝川広志として全身全霊をかけて挑みました。映画の撮影中は、東京に戻らずに、市内に約3週間滞在。「八千代は第二の故郷です」と語ります。お気に入りの場所は、やちよ京成バラ園。映画の中で、妻の直子と一緒に過ごした思い出の地です。ゆらゆら橋や新川沿いの遊歩道も好きで、子どもの頃から、ずっと歩き続けてきたような錯覚に陥る場所だと感じたそうです。「昔からなんかここは変わらないなと思ってしまう場所が、市内にたくさんあるような気がします」と穏やかな表情で話します。映画の舞台あいさつでは、モノマネを披露して来場した皆さんを笑わせ、普段テレビで見るエンターテイナーぶりを発揮。一方、映画の撮影中は、役に入り込み、笑顔

は封印。現場はピリピリしていたそうです。撮影が早く終わると、帽子を被り、ジャージにサンダルという出で立ちで市内を散策。大型商業施設、近くにあるスーパーやパン屋などをのぞいていたとか。そのとき目にしたのは、そこで暮らす人たちの普段の何気ない様子でした。スーパーでお年寄りがお弁当を2個買っていたら、自分の分とあと1個は誰のために買っているのかなと想像したり、買い物をする親のそばでふざけている子どもたちの姿に目をやったり。水島になった気分で観察して、自分が演じる役がどのように育ってきたか、こういう感じの人なのかなと模索しながら、役作りをしたそうです。「役者滝川広志は、八千代から生まれました」と言うコロッケさん。これからもいろいろな映画やドラマに出演できるよう頑張りたいと熱く語っていました。



地域のことをみんなで考えよう 小学校跡地活用のワークショップ



▲八千代台東のまちづくりは、住民が率先して取り組んできた歴史があります

平成26年度末に学校としての役割を終えた旧八千代台東第二小学校。この跡地活用について考えるワークショップが6月16日に八千代台東町会館で行われ、28人が参加しました。今回は、これまでの経緯や、活用の条件などを共有し、3グループに分かれて、意見を出し合いました。今後は、具体的な跡地活用、運営や維持管理の方法について話し合いを重ねていきます。

白い花がさわやかな風味の夏そばになります

やちよ農業交流センター近くの畑で、かわいらしい白い花が咲きそろいました。4月に種をまき、6月下旬に収穫をする夏そばの花です。通常、そばは花をつけてからひと月ほどの黒く実が熟した時期に収穫しますが、梅雨の時期に収穫する夏そばは、雨や台風で被害が出ないように、まだ実に青みが残るうちに収穫するため、秋そばに比べると新鮮でさわやかな風味になります。この畑では、化学肥料を使わず、ライ麦を肥料として使い、土壌にも環境にもやさしい自然の味を育てています。このそばが市内の直売所に並ぶ8月にまた新しい種をまき、秋空の下でも白い花を楽しむことができます。



▲自然な栽培方法で育てます

勝田台小すもう大会 みんなが主役、学級対抗戦！

6月28日、勝田台小学校ですもう大会が行われました。小運動会として40年以上続いている勝田台小の伝統行事。全クラス総当たりの学級対抗戦で、みんなが主役となり、たくさんの保護者や観覧者が応援に来ました。芝生に描かれた土俵で、この日のために体育はもちろん、朝や昼休みにも練習を重ねてきた子どもたちが気迫あふれる真剣勝負を繰り広げました。取組が始まるとともに周囲からは熱い声援が。決着がつくたびにクラス全員で一喜一憂していました。転んでも、泣いても、くじけずにまた次の試合に取り組みます。来年も、汗と涙がしみこんだこのグラウンドで、たくましくなった姿が見られることでしょう。



▲合図直前。水を打ったように静まります

八千代歌壇 佐波 洋子選

折り目ある朝の新聞手から手へはつか嵩まし古紙へ近づく
(八千代台西) 元村 泰介
築山に新芽を出したやぶれがさ陽は高くなりばんがさになる
(八千代台北) 若菜 欽子
年金を押し戴けば行員も深ぶかお辞儀につこり眼が合う
(天和田) 坂井 ワカ
拘りの年年薄れゆく人の折折夢に願って微笑む
(天和田新田) 角田 邦夫
花びらを風に委ねる花水木明日はまた吹く あたらしき風
(天和田新田) 増尾 克子
鳴る瀬ろの二岐の宿頼をさすしぶさちりちり早緑はさやぐ
(八千代台北) 水野太佳代
郊外の齋場出れば山桜青葉光れり義兄の遺影に
(下 市場) 村越喜美子
梨花棚に昼の憩いのラジオかなランチタイムの人のあるらし
(天和田新田) 小針 光

やちよ川柳 八千代川柳連盟選

記念日に結び直した赤い糸 八千代台北 中村 たえ
今日も無事ワインで祝う古い二人村 上 島村 呆眼
ノーズと顔には書いてあるイエス 大和田 羽生田はる
自分史の仮縫いをして試着する 八千代台北 小川 剛毅
長電話鍋がばちばち怒り出す 村上団地 本庄たみこ
雨上がり小さなブーツ並ぶ軒 米 本 西澤はるか
ドッキリを仕掛けた裏で疼く胸 勝田台 福島 つぐ
青い目が伝統を継ぐグローバル 勝田台 板橋神無月
勿体ない母の口癖真似て出る 緑が丘 黒木 麗
口閉ざすアサリ深夜に吐く本音 大和田新田 齊藤キミ子
詳細は聞かぬ夫の高イビキ 吉 橋 根岸 ムベ

リサイクルガイド

消費生活センター 483-1151 (代表)

◆この欄のお問い合わせは、消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時。市内在住の人対象。企業・営利団体は利用できません。

【ゆずりまつり・無料】▼墓盤・墓石 ▼麻雀牌
【ゆずりまつり・無料】▼ロックミシン (3本糸)

◆市役所1階ロビーにもリサイクル品情報を掲示。市ホームページでも紹介しています。